

韓国 釜山で口蹄疫発生 口蹄疫の侵入に対して警戒強化

2月7日、日本行きのフェリー等の運行がある韓国釜山広域市において、口蹄疫の発生が確認されました。

農林水産省では、2月を口蹄疫対策強化月間とし、動物検疫所において水際検疫を徹底するとともに、

全国で牛豚飼養農場を対象に防疫一斉点検を実施しているところです。(管内も実施中ですのでご協力をお願いします。)**[次ページ韓国発生状況・一斉点検票参照]**

改めて、たいせつな家畜を口蹄疫から守るため以下の事項を徹底してください。

農場へウイルスを侵入させないポイント

自分の農場に入る際も、靴、持ち込むものの消毒の徹底

外部からの人や車を農場に入れない

農場に立ち寄る車(タイヤや運転席)や持ち込む物は必ず消毒

踏込消毒槽、専用の作業着及び長靴を設置

発生国に滞在し、ウイルスを伝播する可能性のある人や発生国から輸入された物を農場に近づけない。渡航は控える。

家畜の導入は、状況を見据えて、より慎重に
(導入した場合は、隔離観察を徹底) 等



毎日、必ず家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡してください。

日本は2月5日に「口蹄疫清浄国」に復帰しました。

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp